

学校だより 10月号



充実の秋をめざして

校長 柴田 雅之

夏休みが終わって約一カ月がたちます。いつまで続くのだろうと心配していた暑さもようやくやわらぎ、秋の気配を感じるようになりました。子どもたちは、前期のまとめをしながら学校生活を楽しんでいるように見受けられます。そんな中、生き生きと活動する姿をいくつか目にしましたのでご紹介します。

運動会応援団の顔合わせが行われました。教師の話真剣に聞き、返事や話をはきはきと気持ちよくする応援団員たちからは、やる気と爽やかさを感じました。自分たちが運動会を盛り上げていくんだという気概にあふれ、頼もしくも思いました。26日の本番に向けて、これからの活躍がとても楽しみです。

また、運動会運営実行委員は創立50周年記念運動会を盛り上げていきたいと、工夫できることを考えています。その一つとして、ご来賓としてお越しいただいた方々とともにくす玉を割りたいというアイデアが出されました。地域の方に運動会の案内状とともに、記念イベントへのご参加をお願いするお手紙を送らせていただきました。当日子どもたちと一緒に、くす玉をパカッと割って一緒にお祝いしていただければと思います。

その他にも、50周年子ども実行委員のメンバーが、11月22日の開校記念日をお祝いするために、その直前の19日に「50歳おめでとうパーティー」をしようと計画を立てています。メンバーが校長室に集まって、どんな内容にするか、役割分担はどうするかなど話し合っている姿にもとても感心しました。その日は自校献立で、スペシャルメニューも用意されています。楽しいパーティーになることでしょう。

さらに、千代っ子プロジェクトの5、6年生が「あいさつ隊」を結成しました。全校児童が登校してくるのを正門で迎え、元気にあいさつをしていました。あいさつは人と人をつなぐ大切なものです。それを千代ヶ丘小学校全体で盛んにしていこうという気持ちが嬉しかったです。これからもさらに気持ちのよいあいさつがあふれる学校になってほしいです。

これらの活動に共通しているのは、自分から主体的に活動していることです。自分から動くことで自ら充実した生活を作り上げています。「**大好き 千代ヶ丘 自分から 〇〇のために やってみよう**」という千代っ子みんなの目標に向かって頑張る子どもたちが、主体的によりよい人生を築いていく力を成長させています。後期も、この目標を意識して一人一人が成長していけるよう、教職員一同、支え励まし、ほめ、認めていきたいと思えます。保護者の皆様、地域の皆様、ご理解ご協力よろしくお願ひいたします。

※「あっ、そうなの！麻生区長寿日本一 ～その先へ」（麻生区地域みまもり支援センターより）

10月は乳がん検診を呼びかける「ピンクリボン月間」です。全国で30歳から59歳まで亡くなる女性は26,800人で、そのうち悪性疾患を原因とする方は半数以上の14,100人です。その多くは、健診で発見できる乳がん、子宮がんです。ぜひ2年毎のがん検診を受けましょう。